

平成29年4月18日

平成29年度病虫害発生予報第1号

長崎県病虫害防除所長

向こう1か月間における主な病虫害の発生動向は次のように予想されます。

【予報の概要】

農作物名	病虫害名	発生程度	
		現況	予想
麦類	うどんこ病 赤かび病（平成28年度防除情報 第18号継続）	少 —	少 やや多
ばれいしょ	疫病（防除情報第2号継続） アブラムシ類（防除情報第1号継続） ジャガイモガ	並 多 並	やや多 多 並
トマト	黄化葉巻病 灰色かび病 コナジラミ類（防除情報第3号）	少 並 やや多	やや少 並 多
いちご （本圃）	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類（注意報第1号）	並 やや多 並 多	並 やや多 並 多
かんきつ	そうか病 かいよう病 ミカンハダニ	— — やや多	並 やや少 やや多
なし	赤星病 黒星病 アブラムシ類	並 並 やや多	並 やや多 やや多
果樹共通	カメムシ類	並	並
茶	カンザワハダニ チャノキイロアザミウマ クワシロカイガラムシ	やや少 並 並	やや少 並 並

【発生予報】 本文の（ ）内は平年値

麦類

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

ア 4月上旬の巡回調査（大麦9筆、小麦15筆）の結果、大麦・小麦のいずれも発生を認めなかった（大麦：発生を認めない、小麦：発病茎率0.4%、発生圃場率4.2%）。

イ 4月3半旬の県予察圃場（無防除、諫早市）調査の結果、大麦・小麦のいずれも発生を認めなかった（発生を認めない）。

2. 赤かび病

平成29年3月23日付け**平成28年度病害虫発生予察防除情報第18号**を継続。
その後の発生状況等については以下のとおりである。

(1) 発生状況等

- ア 4月上旬の巡回調査（大麦9筆、小麦15筆）の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。
- イ 4月3半旬の県予察圃場（無防除、諫早市）調査の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。
- ウ 向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並または平年より多い見込みであるため注意が必要である。

ばれいしょ

1. 疫 病

平成29年4月7日付け**病害虫発生予察防除情報第2号**を継続。

なお、その後の発生状況等については以下のとおりである。

(1) 発生状況等

- ア 4月上旬の巡回調査（24筆）の結果、発生を認めなかった（発生株率0.01%、発生圃場率2.1%）。
- イ 向こう1か月の気温は平年より高く、降水量も多い見込みであり、本病の発生に好適である。
- ウ ジャガイモ疫病初発時期予測システム（FLABS長崎モデル）によると、2月15日、3月1日、3月15日を出芽日とした予測初発期間は下表のとおりである。
- エ 下表の予測初発期間を参考にして発病前に防除を行う。防除体系は**病害虫発生予察防除情報第2号**を参考に、効率的に行う。

表 ジャガイモ疫病の予測初発期間（平成29年春作）

出芽日	2月15日	3月1日	3月15日
大 瀬 戸	4/18~28	4/20~30	4/20~30
大 村	4/19~29	4/21~5/1	4/21~5/1
島 原	4/14~24	4/19~29	4/20~30
口 之 津	4/20~30	4/21~5/1	4/21~5/1
平 戸	4/16~26	4/19~29	4/19~29
福 江	4/15~25	4/18~28	4/18~28
愛 野	4/20~30	4/20~30	4/21~5/1
西 諫 早	4/22~5/2	4/22~5/2	4/23~5/3

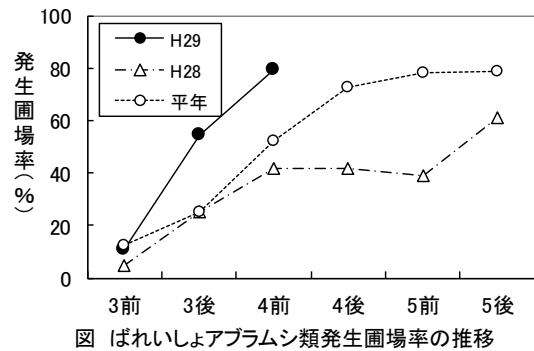
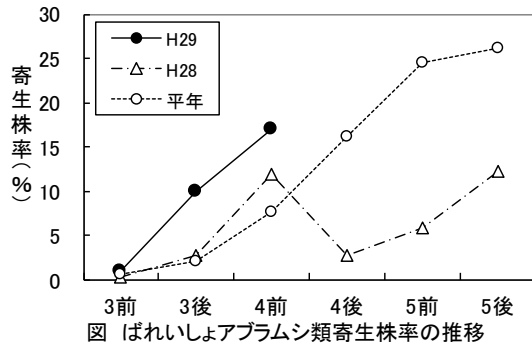
2. アブラムシ類

平成29年4月6日付け**病害虫発生予察防除情報第1号**を継続。

なお、その後の発生状況等については以下のとおりである。

(1) 発生状況等

- ア 4月上旬の巡回調査（24筆）の結果、寄生株率は17.0%（7.5%）、発生圃場率は79.2%（52.1%）であった。
- イ 向こう1か月の気温は平年より高く、本虫の発生に好適である。



3. ジャガイモガ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(24筆)の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 栽培期間中に薬剤防除を行い本虫の密度低減を図る。
- イ 畝表面に露出したいもに産卵するので、栽培期間中は土寄せを十分に行う。
- ウ 掘り取りは日中に行い、掘り取ったいもは長く圃場に放置せず成虫が活動し始める夕方までに屋内に収納する。圃場に残したくずいも等はできるだけ早く処分する。
- エ 秋作用種いもを貯蔵する場合、貯蔵庫の開閉部や隙間からの成虫の侵入を防ぐとともに、貯蔵庫に収納したいもは寒冷紗、こも等で覆って成虫の侵入を防ぐ。
- オ 貯蔵中に被害が発生した場合は、定期的に被害いもを除去する。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.4%、発生圃場率17.7%)。

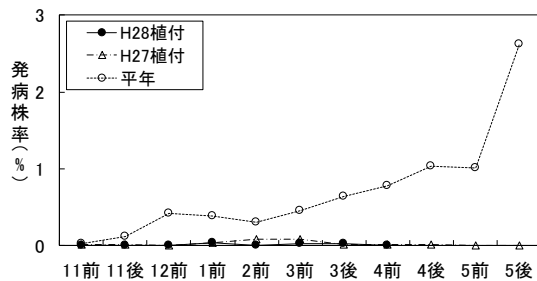


図 トマト黄化葉巻病 発病株率の推移

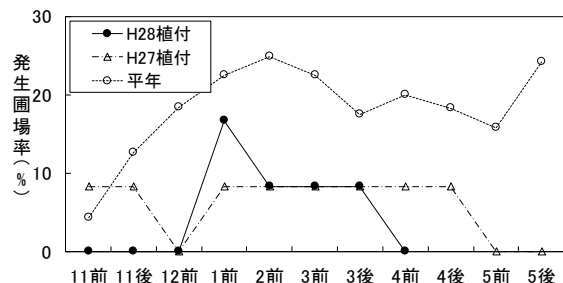


図 トマト黄化葉巻病 発生圃場率の推移

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率は0.04%(0.5%)、発病

葉率は0.7%（過去4カ年平均 1.9%）、発生圃場率は50.0%（過去4カ年平均 41.7%）であった。

3. コナジラミ類

平成29年4月18日付け**病害虫発生予察防除情報第3号**による。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査（27筆）の結果、発生を認めなかった（発病株率0.2%、発病果率0.0%、発生圃場率7.1%）。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査（27筆）の結果、発病果率は0.5%（0.3%）、発生圃場率は22.2%（19.7%）であった。

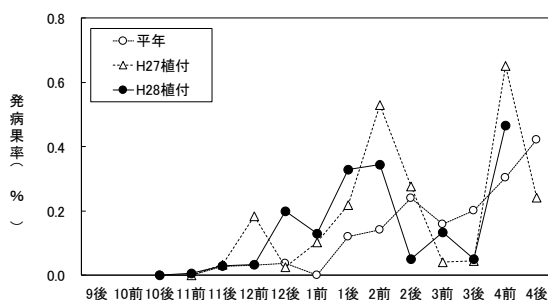


図 いちご 灰色かび病(果実) 発病果率の推移
平年: H18~H27の平均値(最大・小値除く)
ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H27の平均値

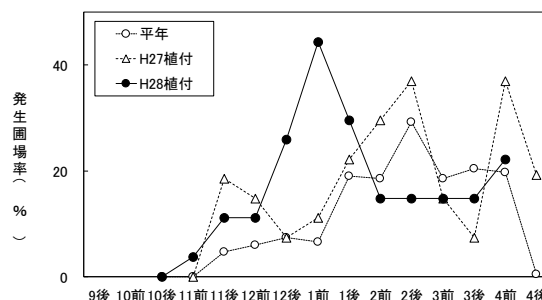


図 いちご 灰色かび病(果実) 発生圃場率の推移
平年: H18~H27の平均値(最大・小値除く)
ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H27の平均値

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 하우스内が多湿にならないよう曇雨天時や気温が低い日もできるだけ換気を行う。
- イ 被害果等の発病部位は伝染源となるので、早期に取り除きハウス外へ持ち出して適正に処分する。
- ウ 予防的な薬剤防除に努める。曇雨天が続く場合はハウス内湿度が上がるのを防ぐため、くん煙剤を利用する。
- エ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査（27筆）の結果、寄生株率は0.3%（0.6%）、発生圃場率は7.4%（10.3%）であった。

4. ハダニ類

平成29年4月18日付け**病害虫発生予察注意報第1号**による。

かんきつ

1. そうか病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月下旬の巡回調査(36筆)の結果、旧葉での発生を認めなかった(発病葉率0.0%、発生圃場率2.2%)。

2. かいよう病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月下旬の巡回調査(36筆)の結果、旧葉での発病葉率は0.1%(0.1%)、発生圃場率は2.8%(13.3%)であった。

3. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(36筆)の結果、寄生葉率は3.2%(2.1%)、発生圃場率は30.6%(21.1%)であった。

なし

1. 赤星病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.1%、発生圃場率1.0%)。

2. 黒星病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.0%、発生圃場率0.8%)。

イ 開花期前後に平年よりも降水量が多かった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア スピードスプレーヤで散布する場合は全列走行とし、園の周囲等で薬液が到達しにくい場所は手散布を併用する。

イ 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一薬剤の連用を避ける。

ウ 発生した葉や幼果は除去し、園外へ持ち出して処分する。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生新梢率は4.5%(0.4%)、

- 発生圃場率は66.7%（17.7%）で、一部多発圃場が見られた。
- (3) 防除上注意すべき事項
感受性が低下しやすいので、同一系統の薬剤は連用しない。

果樹共通

1. カメムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月に実施したチャバネアオカメムシの越冬量調査の結果、常緑広葉樹林の落葉中の虫数は0.17頭/m²（0.3頭/m²）と平年並であった（平成29年2月15日付け、**平成28年度病害虫発生予察技術情報第3号**参照）。

茶

1. カンザワハダニ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査（16筆）の結果、発生を認めなかった（寄生葉率2.0%、発生圃場率35.2%）。

2. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査（16筆）の結果、たたき落とし虫数（5回×4カ所当たり）は4.7頭（6.0頭）、発生圃場率は81.3%（67.2%）であった。

3. クワシロカイガラムシ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査（16筆）の結果、寄生株率は5.3%（5.4%）、発生圃場率は37.5%（50.8%）であった。

【参考】
気象

(平成29年4月13日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

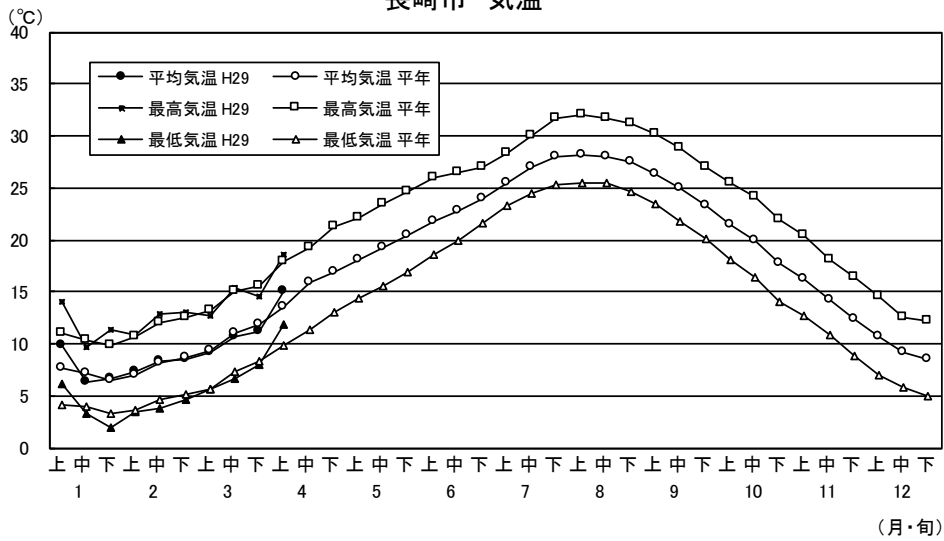
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	10	30	60
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

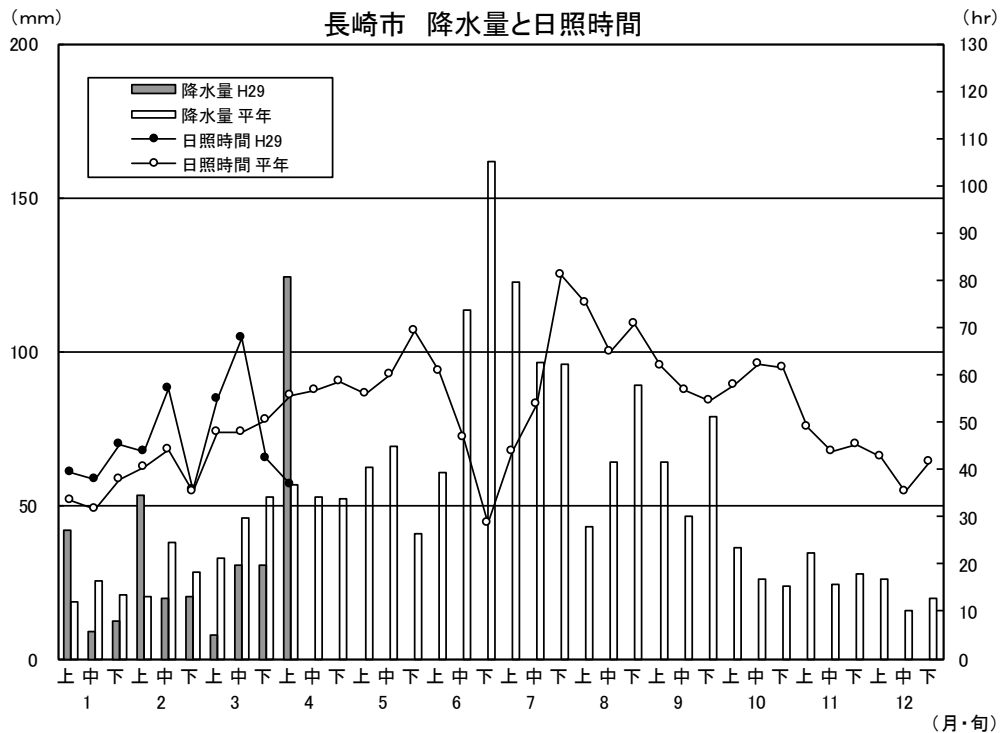
※予報対象地域：九州北部地域

平成29年の気象経過 (長崎地方気象台)

長崎市 気温



長崎市 降水量と日照時間



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

